

44の演目華やかに 小島神社の例大祭



小島神社（通称・山王様）の例大祭が7月28日と29日の両日、同神社境内で盛大に開催されました。

五穀豊じょうや家内安全などを祈願する今年の例大祭では、担当の館岡地区の人たちが、44の多彩な演目を2日間にわたって奉納。春から懸命に積んできたけいこの成果を華やかに披露しました。

詰め掛けた延べ1200人の観客は、出演者の芸達者ぶりに盛んな拍手、声援を送っていました。



安全、快適な道路を 「道の日」に奉仕活動

（社）岩手県建設業協会一関支部平泉地区会員（4業者）は「道の日」の8月10日、快適な道路環境の維持を目的に、町道で清掃活動や街路樹の枝打ち作業を行いました。

協会員は2組に分かれ、町道鈴沢線での街路樹の枝打ちと町道東稲幹線での路肩除草を実施しました。

約3時間の作業で、町道は見通しと美しさを取り戻しました。



平泉の文化遺産学ぶ ときめき世界遺産塾

平泉町や一関市、奥州市などの小学5年生から中学生を対象に平泉の文化遺産を学ぶ「ときめき世界遺産塾」の本年度2回目講座が8月3日、町内で開かれました。

第2回のテーマは「中尊寺 金色堂から学ぶ平泉文化」。中尊寺では僧りよの説明を受けながら、本堂や金色堂、旧覆堂を見学しました。

参加した約40人の子どもたちは、平泉の歴史と文化に理解を深めていました。

▶幽玄の世界をかもしだした中尊寺新熊（8月14日）



古都の夏を 華やかに彩る

今年の夏も、町内では多彩な行事が練り広げられ、過ぎゆく古都の夏が華やかに彩られました。

恒例の大文字まつりや中尊寺薪能など、夜のイベントには多くの見物客が繰り出し、夜空に赤々と浮かぶ「大」の字や、迫真の舞など、風情あふれるひとときを堪能していました。



各地区でにぎわいを見せた盆踊り（写真は駅前盆踊り大会・8月15日）



大文字まつりの幕開けを飾った法火リレー。小中学生5人が法火をつないだ（8月16日）



戦争のない世界願う 平泉町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が8月10日、平泉郷土館でしめやかに営まれました。

日清、日露戦争から太平洋戦争までの町内の戦没者は305人。参列した遺族など約100人は、祭壇に花を手向けて静かに手を合わせ、戦争の犠牲となった肉親や先祖のめい福を祈っていました。



交通事故防止を 「梅干作戦」展開

町交通安全母の会連合会が主催する「梅干作戦」と平泉をきれいにする会の「ごみ持ち帰り運動」が8月9日、平泉・前沢インターチェンジ出入口付近で行われました。

ドライバーに梅干しとごみ袋を合わせて配り、交通事故防止と道路美化を呼び掛けました。